

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事の際、介助を要する利用者が現在2名おり、介助を行いながら職員が自らの食事をするのは難しい。	食事がさらに楽しいものになるように、同じテーブルを囲んで、利用者と職員が同じものを一緒に食べる。	現在の勤務形態から、食事時間には調理に1名、介助に2名の職員がいる状態が多い。2名の介助職員は左記のとおり、食事介助を行っている。また調理を行った職員は食事が始まった後は、調理器具の片付けを行っている。当郷では調理も介護スタッフがやっている。しかし、調理を行ったスタッフがそのまま利用者と食事を取ることは無理なくできるものである。全職員と一緒に食事を摂ることが望ましいが、第一段階として行ってきたい。	ヶ月
2	10	・家族会で出された意見や要望を日々の運営に反映されるよう取り組む。 ・家族同士の親睦を深める機会が少ない(家族会より)	家族の意見や思いが施設に伝わり、双方にとって良い関係が築かれ、よりよい運営ができるようになる。	家族会が発足して、家族が施設の行事に参加することは多くなっている。しかし、家族会からの意見が施設側にできることはあまり見られていない。家族同士の親睦を深めるには顔を合わせる機会が多い方が望ましい。運営推進会議をはじめ、行事の案内を家族に行い、参加をしてもらうことで、家族同士の顔を合わせる機会したい。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。